

先生	小学生で習う漢字についてヒントを言いますから、当ててみてください。まず一つ目のヒントです。その漢字は音読みで「ヨウ」といいます。
啓くん	その読みの漢字はたくさんありますね。それだけではわかりません。
先生	では二つ目のヒントです。その漢字の部首は「院」と同じです。
明さん	その字の上に「太」という字がついた二字熟語がありませんか。
先生	はい、あります。
啓くん	わかりました！ その漢字は「（あ）」ですね。
先生	よくできました。では、もう一つ。同じく音読みで「ヨウ」と読んで、「（い）器」などのように使います。
啓くん	うーん、難しい。他にヒントはありませんか。
先生	その漢字の部首は「家」と同じですよ。
明さん	わかりました。その漢字は「（い）」です！
先生	よくできました。では「院」と「家」を使って、何か筋の通った一文を考えてみてください。
啓くん	「（う）　　う　　（）」という一文はどうでしょう。
先生	よくできました。ちゃんと「院」と「家」が使われた一文ですね。
明さん	私も考えました。「（え）　　（）」という一文はどうですか？
先生	なるほど。「長い治療が終わって、自宅に戻ってきた」というところですね。

問一 （あ）（い）に入る漢字を答えなさい。

問二 （い）に入る漢字の部首をひらがなで答えなさい。

問三 （う）（え）に入るふさわしい一文を考えて、それぞれ答えなさい。ただし、会話の流れを

ふまえた一文とし、同じ内容・同じ表現を用いないこと。